

環境配慮個票

事業名	農村地域防災減災事業	地区名	大方西部	受益面積	10.6ha
関係市町村名	黒潮町	予定工期	H27～H31		
総事業費	495.000千円	H27年度以降事業費	495.000千円		
総事業量	ため池整備（2箇所） 緊急避難路整備（4路線） 緊急避難施設整備（2箇所）	H27年度以降事業量	ため池整備（2箇所） 緊急避難路整備（4路線） 緊急避難施設整備（2箇所）		
マスタープランの区分	環境配慮区域	自然公園等の指定	無		
既存資料による希少種の情報の有無	H25環境調査資料				
周辺の環境	<p>黒潮町は平成18年3月20日に旧佐賀町と旧大方町が合併して誕生した町で、高知県の西部地域に位置し、海や山、川といった自然豊かな人口12,000人あまり、面積188.46平方キロメートルの町である。年間平均気温は、16度～17度と温暖で日照時間も長く、年間降水量は2,800mm～3,000mmと温暖多雨で農業生産条件としては恵まれている。作付作物は、キュウリ、ミョウガ、ニラ、イチゴ、メロンなどの施設園芸や宿根かすみ草やテッポウユリなどの花卉栽培、ブナシメジ、エリンギなどの菌茸類を中心に、みかんやラッキョウ栽培も行われている。</p>				
地区の環境の特性	<p>大方西部地区は、土佐湾に面し、蛸瀬川、加持川の二つの河川によって形成された平野部とその背後の丘陵地および南西側に広がる海岸段丘に立地している。概要として、避難路沿いには、集落及び農地が広がっており、その目的地である避難場所は、小高く、日当たり良好である。また、亀の甲池は南南東、大池は東に向かって設置されているが、両池とも山で谷をせき止めて造られたもので、両側から林が迫っておりそれ程日照時間は長くない。</p> <p>環境調査結果：平成25年度に実施し、植物種で1種類、動物種で4種類の重要種が確認された。</p>				
配慮すべき事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 堤体の従来植生への配慮 工事後の外来種侵入に注意が必要 2. 従来魚介類への配慮 堤体改修に伴う池干しで死滅する恐れがある。 3. 工事施工に係る泥水対策 4. 生活環境への配慮 				
配慮方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現況堤体の表土を工事中保管しておき、堤体盛土の表土に使用する。 2. 極力環境に変化のないと思われる位置に土のうや盛土等で仮締切を行い、ある程度の湛水域を設け水生動植物や魚介類（外来種を排除）を現在の位置で保全することとする。 3. 施行中の土砂、濁水の防止対策を実施すると共に降雨時の施工はできる限り回避する。 4. 工事に伴う騒音、振動、粉じん等の低減に努め、土砂搬出等に際して路面の汚れに注意を払う。 				